

都市再生整備計画(第3回変更)

むつみ
六美地区

とちぎ みぶまち
栃木県 壬生町

平成24年3月

都道府県名	栃木県	市町村名	壬生町	地区名	六美地区	面積	260	ha
-------	-----	------	-----	-----	------	----	-----	----

計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

大目標:良好な地区発展のための基盤づくりと安心・安全なまちづくり

目標1:生活道路の雨水排水路整備により、生活環境を改善し暮らしやすいまちづくりを推進する。

目標2:アクセス道路の整備により、通過交通車両から歩行者の安全の確保を図り地域特性と調和のとれた道路整備を推進する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、戦後、陸軍教導飛行隊壬生飛行場として、元軍人を始め引揚者、疎開人を中心とした開拓団により切り開かれたという歴史を持つ地区である。
東武宇都宮線に隣接し、くみや駅がある市街化区域と、線引き以前からの居住者の多い市街化調整区域(農振白地)により構成され、定住人口は約20人/haという、壬生町内においても、他の区域とは異なる地区形成をしている。
- ・地形的には平坦で、宇都宮都市圏の中でも好立地にあり、地区内には都市計画道路六美吾妻線が計画されている。また、H12年には北関東自動車道栃木～上三川間が開通し、壬生ICが付近に整備され、高速道路の全線開通時には壬生町において商工業の中心となる開発ポテンシャルを有した地区である。
- ・本地区は、商工業や住宅地としても大いに発展が期待される地区であることから、栃木県の北関東自動車道沿線開発構想の事業地に位置づけられ、付近にある獨協医科大学病院と連携した医療系産業の研究・開発施設、緑豊かな住宅、レクリエーション機能等を複合した都市形成を目指したヘルシータウン開発が予定されていたが、今般の経済状況等により事業が凍結となってしまった。
その中で、経済性を考え、大規模開発事業にあわせた基盤整備を計画していたため、現在も十分な整備がされておらず、地区内各所で雨水排水問題や舗装の破損等の問題を抱え、住民生活に不安を抱えている。
- ・小学校を始め、町立の知的障害者自立支援施設(授産施設、こども発達支援センター)や児童館、民間デイサービスセンター、保育園が立地しており、町の福祉行政の一端を担っている地区である。特に児童館については、近年の社会情勢を受けて、学童保育や通学時の安全確保等に重要な役割を發揮している。
- ・これまでに地区内3自治会と連携を図り、勉強会を開催し、地区計画について意見交換を行いまちづくりに住民意見を取り入れるよう検討を続けている。
- ・壬生町の土地利用調整基本計画では、本地区の将来的土地利用基本方針は都市地域であり、開発の需要は高いと位置づけているため、今後の町発展では中心を成す地域である。
- ・地区内にある町営住宅が老朽のため解体され、長期に渡りその後の土地利用方針が定まらなかったが、高齢者向け住宅整備の可能性を検討し、本地区形成との調整を図っている。

課題

本地区での生活に安全と安心そしてゆとりを確保し地区再生をするためには早急な生活環境の改善が必須事項である

- ・地形的条件により、本地区では雨水が地区外に排出されず、地区内低地の道路に集まるため集中豪雨の際には道路冠水のおそれがある。梅雨の長雨や台風時期、本県特有の雷雨の際には消防団や町職員が警戒にあたり床下浸水に備え土のう積みや見回り強化等の対策をしている状況であり、広範囲の道路側溝や排出先の整備が必要である。
- ・幅員が狭小な町道にもかかわらず、隣接市とのアクセス道路が地区内にあり、特に交通量の多い朝夕の通過車両から歩行者を守る安全対策が必要である。
- ・福祉施設が多数立地しているため、これらの施設と調和のとれた地区整備が求められる。
- ・将来に向けた住民自治を実現するための土台作りが求められている。

将来ビジョン(中長期)

地域に活力があり、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり

- ・地区の課題が解消し、多くの住民が満足する生活環境が整い住みやすい地域となっている。
- ・既存福祉施設と調和のとれた周辺環境整備が整い魅力ある地区形成がなされている。
- ・住民ひとりひとりが地域の主役として活躍し、活力に満ちた地域が形成されている。

目標を定量化する指標

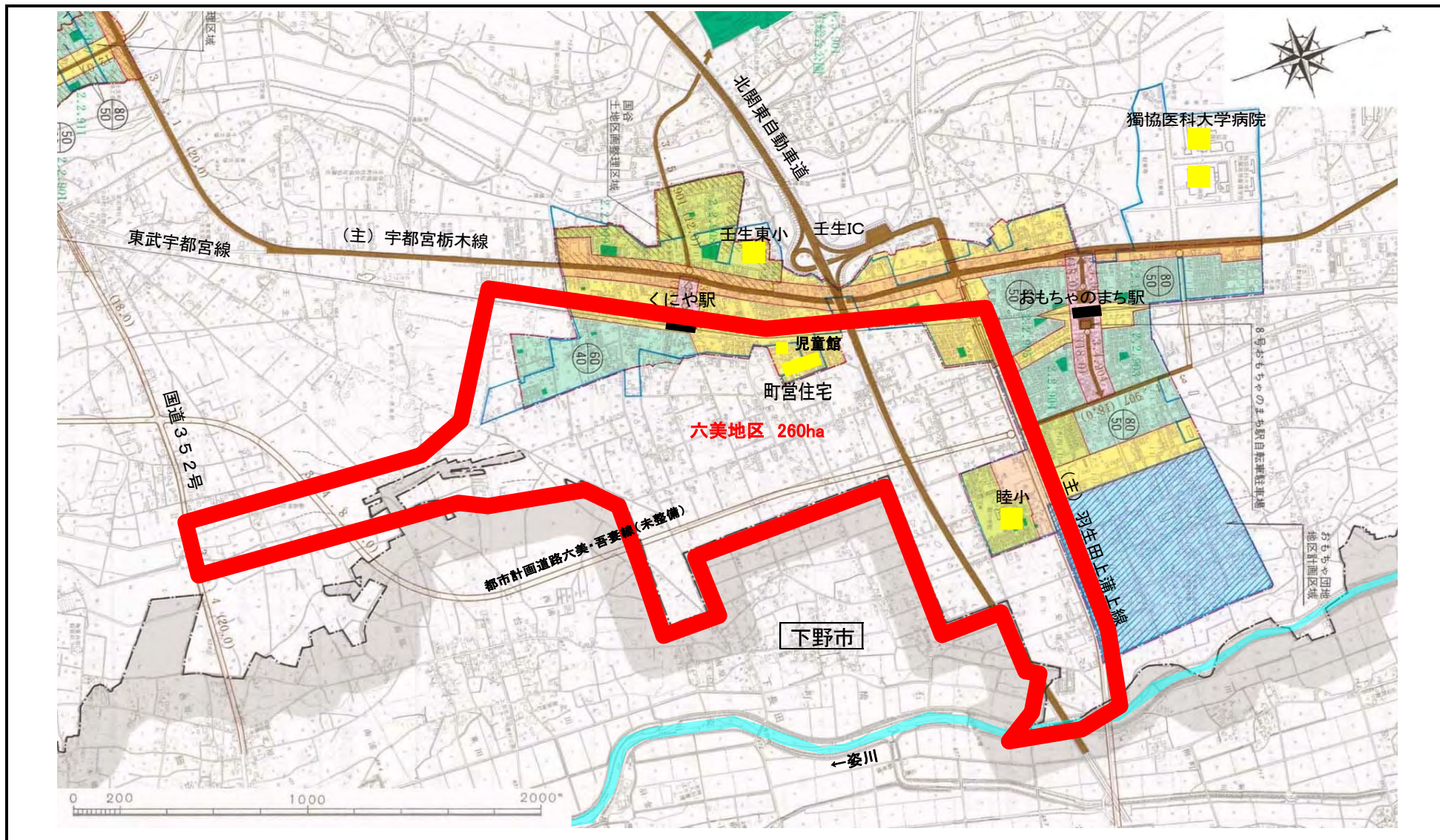
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	
道路冠水面積	m2	冠水している道路の面積	雨水排水路整備による効果を冠水面積の減少で表す	49400	23300	18	23
交通安全対策満足度	%	交通安全対策に満足している人の割合	交通安全対策の効果を利用者の満足度で評価する	35	60	18	23
児童館利用者数	人	一年間に児童館を利用した人数	環境整備により地区の特色が地区内外に広まり、また、アクセス強化により利用者が増加する。	16000	17600	17	23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(基盤整備による安心、安全の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通過交通車両及び歩行者等の安全対策として幹線道路の拡幅・歩道整備・道路排水施設整備(2路線L=1750m W=10m)。 ・集中豪雨時の水害対策として道路排水施設整備(L=3420m)。 	<p>道路拡幅、歩道整備・道路排水施設整備(道路) 道路排水施設整備(道路)</p>
<p>整備方針2(地元力の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅集会場等の整備をし、地域活性化を援助。 ・地元3自治会において新たな組織を発足し地区の発展、活性化についての推進力を高める。 	<p>町営住宅集会場等整備(公営住宅等整備)、六美地区まちづくり推進事業(提案)</p>
<p>整備方針3(防犯・交通安全対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を中心とした防犯対策を策定し、町の支援が必要な事項について助成。 	<p>防犯灯外交通安全施設の設置(提案)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や父兄を中心とした地域のグループで安全対策活動を実施し、町は助言・支援等の協力をする。 	

都市再生整備計画の区域

六美地区(栃木県壬生町)	面積	260 ha	区域	壬生町大字壬生丁
--------------	----	--------	----	----------



むつみ みぶまち
六美地区(栃木県壬生町) 整備方針概要図

目標

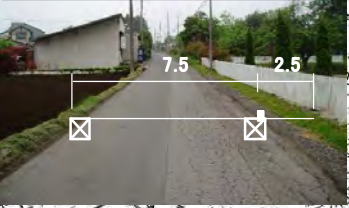
生活環境の改善による安心・安全なまちづくり

代表的な
指標

道路冠水面積 (㎡)	49,400	(18年度)	→	23,300	(23年度)
交通安全対策満足度 (%)	35	(18年度)	→	60	(23年度)
児童館利用者数 (人/年)	16,000	(18年度)	→	17,600	(23年度)



■ 基幹事業: 道路
※ 拡幅、歩道設置、道路排水施設整備
・ 町道二級59号



■ 基幹事業: 公営住宅等整備
※ 集会場整備
※ 火災報知機設置

- 基幹事業: 地域生活基盤施設
※ 案内板設置
- 提案事業: 地域創造支援事業
(防犯対策施設設置事業)
※ 防犯等設置
- 提案事業: 事業活用調査
※ 交通安全意識調査
- 提案事業: まちづくり活動推進事業
(六美地区まちづくり活動推進事業)

■ 基幹事業: 道路
※ 拡幅、歩道設置、道路排水施設整備
・ 町道2-327号



■ 基幹事業: 道路
※ 道路排水施設整備、道路新設
・ 町道2-332号
・ 町道2-333号
・ 町道2-334号
・ 町道2-341号
・ 町道2-612号
・ 町道2-700号



凡例

	基幹事業
	提案事業
	関連事業

【凡例(施設着色)】

	道路(拡幅、歩道設置、道路排水施設整備)
	道路(道路排水施設整備)
	集会場
	案内板
	防犯灯
} 図内設置箇所は例	